

生活創造空間

にし NISHI

～アンラシネを目指します～

第23号 2015年4月20日発行



2年目のムスカリが咲きました

生活創造空間にし

6年そして7年へ（2009年6月開所から）

- | | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2009年 | 自民党から民主党へ「政権交代」「派遣切り」 |
| 2010年 | 「脱小沢」「無縁社会」「AKB48」 |
| 2011年 | 東日本大震災 「3.11」「絆」「帰宅難民」 「こだまでしょうか」「風評被害」 |
| 2012年 | 「ワイルドだろお」「維新」「LCC」 「終活」「爆弾低気圧」「IPS細胞」 |
| 2013年 | 「今でしょ!」「お・も・て・な・し」 「アベノミクス」「特定秘密保護法」 「PM2.5」 「ブラック企業」「ハイトスピーチ」 |
| 2014年 | 「ダメよ～ダメダメ」「集団的自衛権」 |
| 2015年4月 | この6年。いつの時代も同様かもしれませんが。様々な「ことば」がありました。様々な「こと」がありました。政権交代があったことはもうだいぶ昔のような。そんな気もしますが。それもこれも2011年3月11日の大震災が大きいのかもかもしれません。この震災はまだまだ日本というこの国のありかたを揺らし続けているようです。「生活創造空間にし」も同様と考えながらゆっくり揺れながら確かな一歩を歩んでいこうと。 |

「エヌクラブ、ガッツ・ビーと西の1+1が2以上になっていきます」開所の言葉にそんな言葉がありました。それを目指しながらやってきましたがどうなっているか。皆様の評価はいかがでしょうか。地域に根差すことを大事にしてきました。まだまだでしょうが確実に歩めた6年とも自負しています。それぞれの場を大事にしながらランチコンサート 夜の邂逅コンサート にぎわいにしよこ寄席 屋上広場「檸檬」地域の団体と行ってきた第3地区福祉フェスタそして年ごとにテーマを決めておこなう研修会等々。また大きな防災ばかりでなく地域の防災に関連して西区と「災害時等における施設の避難場所使用に関する」協定の締結と。また本当に遠方（ドミニカ）近隣等多くの方々の見学がありました

そして7年目。1+1=2以上になっているとしたら。これからは3・4・5になろうと。そのためにはどんなことを考えなくていけないのだから。やっぱり地域に根差すことを目指すこと。「改めての地域貢献」かなと。「障がい施設」が「障がい者」が地域で出来ることを本気になって考えていきます。それが「ソーシャルインクルージョン」どんな人でも暮らしやすい地域になることだと。今までのことを大切にしながらまた新しい一歩を踏み出せたらと考えています。

本当に今までありがとうございました！そしてこれから本当によろしく願いいたします。

（生活創造空間にし 館長 渡辺幹夫）

にしうさ男からの報告

うさ男が西区地域自立支援協議会のことをつぶやき始めたのが、2013年11月。1年と5ヶ月が経ちました。西区地域自立支援協議会のマスコットの役割もそろそろ板についてきましたでしょうか？ さあ、今回もいってみよお～！

前回、姉妹自立支援協議会についてお話しさせていただきましたが、今回はその姉妹自立支援協議会が大きく一歩前に動き出しましたので報告します！！

（『釜石・大槌の4年、西区の4年 ～4年でなにがかわった?!』を終えて）

平成25年9月からスタートした姉妹自立支援協議会。西区から釜石に伺ってお話しすることが中心でしたが、今回はなんと釜石・大槌の方が6人も来て下さり、お互いの4年間を報告し合いました。被災地の話を聞く研修はどこにでもあります、西区の4年間の取り組みについても報告させていただいたところが今回の研修の「味噌」でした。今回参加くださった方、60名から様々なご意見いただきましたので、いくつかご紹介させていただきます。

- ・ とても具体的に活動内容が聞けて良かったです。ゼロからたった4年で行われてきた、様々な活動にみなさんの強い意志を感じました。
- ・ 西区の事業所に勤めていても、自立支援協議会の各エリアでどのような取り組みを行っていたかを知ろうとしていなかったのも、今日は具体的な内容を知れてよかったです。
- ・ 藤原さんが報告してくださった内容がとてもイメージしやすく、もし自分の地域でも震災が起こったら、そうなる可能性が大いにあるのだらうと、と感じました。「自分ができることを発信していく」ことを大切にしたいと思います。
- ・ 人とのつながり、施設とのつながりで、いかに情報を確保、知恵をだしてやれることをすすめる、改めて続けていく。
- ・ 他の人のこと、と考えず「その時」「今から」できることを考えたいと思います。
- ・ 西区の福祉支援員の一員として、どの分野においても私ができることができたと思います。今の担当である販売・営業の職員として、他の職員よりも他事業所（場所、職員共に）を知っているのもそこを強みにしていきたいです。
- ・ 顔の見える関係が想定外でも生きる基礎になるというお話は、とても勉強になりました。



さあ、これからも一歩一歩ゆっくりかもしれませんが、歩みを前へ進めていきます！

（にしうさ男）



「はたらく」をささえるということ

2015年4月でエヌ・クラブは7年目に入りました。

障がいのある方が働く場であり、社会に出る前に作業を通して社会性や労働マナーを身に付ける場でもあります。6年間で就職した方は32名。離職者は2名。なかなかの定着率！と自負しております。

障がいがあっても社会の一員として働く。自分が出来る事をやる。出来ないことを出来るようになるために頑張る。そして支援員は一人一人の強みをどう活かすことが出来るか、出来ないことへの工夫を考え、出来るようになることを支えます。

「はたらく」と間違ったら怒られる。学校の時よりずっと厳しい。頑張ったのに報われない時もある。

「はたらく」とお金がもらえる。責任がうまれる。やりがいもうまれる。相手が喜ぶと自分も嬉しくなる。

支援員も「はたらく」社会の一員です。同じように怒られ、泣いて、笑って…。

ともに働き、ともに学ぶ…とはいえ、利用者さんに「はたらく」ためのルールやマナーを伝える役割を持っています。口で言うのは容易いですが、遅刻する支援員に遅刻を注意されたくはないでしょうし、挨拶しない支援員に挨拶しようとは思わないでしょう。私たちは常に自分をも正していかななくてはならない仕事だと思っています。そして、何が正しくて、何が‘普通’なのかを考え、一方で正しくなり過ぎないようにも考えていかなければなりません。完璧な暮らしは息苦しいものです。

障がいがあってもなくても‘楽しい’‘つらい’と感じる心は同じだという事。

福祉の世界だけのルール（例えばエヌ・クラブの中ではいいと限定されたもの）は作らない。

- あなたは気持ちを切り替える時、どうやって切り替えていますか？
- 目をつぶって駅のホームに立ったらどんな感じだと思いますか？

私たちは当然のように起きて、食事をして、仕事をしています。辛くても頑張ろうと気持ちを奮い立たせたり、気分転換をして切り替えたり…いつ、どこで、どうやって身に付けた処世術なのか、気が付いたらやっていたりすることを「意識化」して伝えていくこと、分からないことを「想像」することが就労支援の仕事だと感じています。

- あなたの好きなことは何ですか？
- あなたのよいところを教えてください。

エヌ・クラブの中で働いても、企業に就職しても長く働いて欲しいと願っています。

長く元気に働くためには人生を楽しんで欲しいとも願っています。

そして、長く働いた後の人生も豊かなものであるよう願っています。

「はたらくこと」を支えているのは一人一人に関わっている方すべての方であること、多くの方の力を借りて誰もが生活していることに障がいは関係ない。当たり前の事。

『ソーシャルインクルージョン』のためにエヌ・クラブが出来ることを7年目も頑張ります。

ガッツに吹く新しい風・・・

この度、新年度から屋上でハーブを栽培することになりました！

日中活動のプログラムの中で、土を耕すところから、水やり、草刈といった栽培の活動やハーブを使用した製品作り、催しものなどなど…年間を通じてハーブ関連の企画を計画中です！

今回のこの企画は、関東学院大学の教授や学生ボランティア、ハーブの会（市民団体）に協力していただき進めています。

関東学院大学ではハーブを通じて「介護者の支援」をテーマに地域のつながり作りを目指して活動を行っており、世代は関係なく、子どもからお年寄りまで参加されています。育てた乾燥ハーブは地域の有名な洋菓子屋さんでハーブティーとして販売されているようです。

日常の中で視覚的に木々を見る事はあっても、実際に自然に触れ合う機会はなかなかありませんよね。土を触ることは精神の安定を保つためにとても効果的だと言われています。風やハーブの香り等、自然を五感で感じることで日頃のストレスを和らげることにも繋がるのです。また、栽培を通じてコミュニケーションを取り合いながら、仲間と作業をするという喜びを感じていただければと思っております。太陽の下で、みんなで和気あいあいと自然にふれあっている光景を思い浮かべると今から楽しみです♪この先ガッツでも地域の方に愛されるような、そんな活動にしていければと考えています。まだまだ準備段階ではありますが、みなさんに心地の良いハーブの香りをお届けできるように一生懸命育てていきますので、応援よろしくお願い致します。

～ハーブのご紹介～

今回、ガッツで育てようと考えているのがホーリーバジルという西洋では神聖なるハーブと呼ばれているハーブです。

別名トゥルーシーといい、インド語では

『比べることができないほど素晴らしいもの』

というそうです。

ホーリーバジルの効用として、精神、身体の疲労回復はもちろん、免疫力の向上、鼻づまり改善にも効果があり、最近では放射能汚染から体を守るハーブとしても注目が高まっています。

また、一般的なバジルと同じように肉料理などのスパイスやお菓子にも使えるとても万能なハーブです。



ハーブ企画担当：鎌田



松山

「にぎわい&にしよこ寄席」其の5

2015. 2. 28

ようこそのお運び、厚く御礼申し上げます。本日も、夏丸、風子師匠のお二人による絶妙多才な芸の数々、新作から古典のお囃、さらに玄人(?)はだしの歌声でいやが上にも笑いの^{るっぽ}壇場。客席の皆さまと心を同じくする幸せを呼ぶ舞台となりました。

「にぎわい&にしよこ寄席」の演席で、心置きなく堪能していただけたのではないのでしょうか。このご縁、この仲をいつまでも生活創造空間にしかから発信し続けたいと思う次第ですが。みなさまはいかがでしたでしょうか?ということで次回もやります。乞うご期待。(松之家 ふくかん)



桂 夏丸師匠



春雨や風子師匠

ステーション邂逅Vol.15開催!

ステーション邂逅と銘打って始まったのが…

2010年5月14日(金)

記念すべきVol.1はDaidai(橙)さんでした
あれから5年…。

今回、三度の登場となった橙さんの報告をいたします。

今回は、Vocal(ボーカル)に須田 晶子さんをお迎えし

Flute(フルート): 小林 豊美さん、

Piano(ピアノ): 島末 幸子さんの3人での演奏でした。

それぞれのオリジナル曲を交え、ジャズやポップスを
2時間たっぷり演奏して頂きました。

いつも感じる「あたたかさ」がありました。

橙さんが昼コンを含め80回近く演奏して下さっているので
なじみの空気感がありました…。夜に聴く橙さんもまた格別です。
次回もぜひお願いしたいですね!

オリジナルCDの販売もありました!私も1枚購入!

めざせ100回! なにか記念品とかありますよね!?館長!



エヌ・クラブ、ガッツ・ビーと西座談会

を開催しました！

「生活創造空間にし」の6年を、エヌ・クラブ、ガッツ・ビーと西の若手現場職員の立場から振り返りを行いつつ、各自が担当している事業について、改めて説明してもらう場を作りました。

参加していただいたのは、エヌ・クラブから3名、ガッツ・ビーと西から3名、計6名。職歴や担当事業も様々だった為、「生活創造空間にし」を再確認するうえでは有力な方々に参加していただけたのではないかと思います。

同じ建物の中で事業を行ってはいますが、実際はお互いに様々な動きを取っていることや活動内容については知ってはいましたが、利用者さんを通しての情報しかないというのが現状でした。

今回、各自の担当事業の説明することで、利用者さんがどのような目的で利用しているのかを再確認でき、また、「生活創造空間にし」としてさらなる連携を強めていく為に、「△△な情報交換をすることで、よりよい連携ができる」など、現場職員だからこそ見えてくる課題や連携方法が出てきていました。

腹黒日記～黒々なるままに～

☆大貧民やろうよ☆

読者の皆様は「大貧民」というトランプのゲームをやられたことがあるだろうか？

地域によって呼び名の違いやその土地その土地のローカルルールがある様だが、それでも多くの方が知っている人気のトランプゲームだ。先日、我が家で「大貧民」をやってみようという事になった。小学3年生の長女も1年生の長男もやったことがないとのことだったので、最初は単純なルールから始め、徐々に8流しや縛り、などの特殊なルールも加えていった。最初は家族団欒でとても和やかな雰囲気ゲームを楽しめたが、ルールを少しずつ増やしていくと、雰囲気はどんどん悪化していった。決定的だったのは、前のゲームで勝った人(富豪)と負けた人(貧民)の間で一番強いカードと弱いカードを交換する年貢システムを取り入れたことだ。

このシステムは The 大貧民ともいべきルールで、このルールがあるからスリリングなゲームになったり、一発逆転の大博打が展開される、いわゆる、醍醐味の部分かと思うが、まだ精神的に未熟なわが子らには、少し早すぎた。貧民(強いカードをとられる人)が続いてしまうと、一向にそのポジションから抜け出せず、貧富の差、格差社会に涙し、ルールを捻じ曲げようと偽装したり、しまいには「お前なんか塾にも行っていないし、九九も覚えてないじゃないか」と学歴社会を思わせる発言も出た。

我が家の一家団欒には、しばらくの間はドロ-4 ぐらいのインパクトがちょうどよさそうだ。

(腹ぐろーる)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)